

# 坂井市議会だより



坂井市

第33号

2014.8

6月定例会



表紙：帯のまち丸岡「七夕まつり」〔結(ゆい)〕

## 主な内容

議長・副議長あいさつ	2	補正予算概要	17
予算特別委員会	3	広域連合・一部事務組合報告	17
代表質問	4~5	定例会審議結果	18
一般質問	6~13	議会報告会報告	19
常任委員会報告	14~16	議会構成	20



磯部小学校 6年

長

桃華さんの作品です。

「坂井市議会だより」  
の題字は、



# 議長・副議長あいさつ



## ご挨拶

議長 橋本 充雄

このたび、議員各位の温かいご推挙を賜り、議長に就任させていただきました。

もとより浅学非才の身であります。坂井市のさらなる発展のため、全力をつくす次第でございます。

議会は市民の代表機関、市の意思決定機関として市政運営の二元代表制としての一翼を担っています。

そして、坂井市の歴史と文化を踏まえ、住民目線に立つたまちづくりの推進と市民福祉の向上のために、全力を挙げて取り組まなければなりません。

市は来年度、合併から10年という大きな節目を迎えます。

合併特例法による地域自治区制や普通地方交付税の段階的縮減、また来年度の北陸新幹線金沢開業など重要な課題が山積みしております。



そのような中で今こそ我々議会は、議員個々のスキルアップを図り、議会としての政策立案能力を高め、市政への政策提案の拡大を図ることが市政発展に大きく寄与するものと考えております。

そのためには、議会報告会など市民みなさまとの意見交換の場を多様に設け、市民参加と市民との連携を強めていかなければならないと思っております。

今後とも、市民みなさまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。



## ご挨拶

副議長 前田 嘉彦

このたび、4月の臨時議会におきまして、議員各位の温かいご推挙により、副議長の要職に就かせていただくことになりました。

まことに身に余る光栄と存じますとともに、その職責の重大さに、身の引き締まる思いであります。

地方分権の進展に伴い地方公共団体の権限と役割が拡大する中、議会運営にあたりましては、坂井市議会基本条例を基に、二元代表制の一翼を担う市民の代表機関として、その機能を十分に発揮出来るように、議長を補佐し、公正で円滑な議会運営と議会改革に、誠心誠意努めてまいり所存であります。

また、6月に東洋経済新報社が調査している「住みよさランキング」の本年の結果が公表され、坂井市は総合評価



で昨年の4位から2位に順位がアップしました。

全国2位の評価をいただけることは喜ばしく、誇れるものであります。誰もが笑顔で暮らせるように、これからも市民と対話を重ねながら、みなさまの声を反映した政策実現を目指していきたいと思っております。

今後とも、みなさまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。



# 予算特別委員会

平成26年度当初予算は骨格予算だったため、6月定例会では肉付け予算が計上されました。

このため予算特別委員会を6月12日、13日、7月3日の3日間にわたり市長、副市長、教育長をはじめ担当部長の出席を求め、平成26年度坂井市一般会計補正予算（第一号）について審議しました。  
主な審議内容は次のとおりです。

## 総務部所管



・防災行政無線で三国町の事例を踏まえてどのようにカバーするのか。

・J・A・L・E・R・T未整備地区は整備完了までの間、どのように対応していくのか。

・女性管理職の目標設定と今後の研修対応。  
・交流・定住人口確保の考え方。  
・シテイセールスにおける坂井市の魅力発信で、観光客増の見込みを捉える戦略。

## 生活環境部所管

・赤坂聖苑の今後の改修計画。

## 福祉保健部所管

・健康都市宣言を行うにあたり、連携していく所管とその内容。  
・三国南保育所跡地の利用方法。  
・坂井こども園は保育所型になっていくが、幼稚園との違い。



▲三国南保育所

・生活総合機能改善機器（カラオケ

セット）の設置場所。  
・老人クラブでの健康づくりのあり方。

## 産業経済部所管

・プレミアム商品券発行事業補助金で地元業者、特に小事業者が恩恵を受けられる方策。  
・らっきょう端切機ロボットの今後の導入予定。  
・農業の6次産業化の内容。

・ゆあぼくと1号井源泉ポンプ点検業務の内容。  
・三国サンセットビーチイベント事業内容。

・三国サンセットビーチの砂浜整備。  
・家族農業への支援。

## 建設部所管

・春江随応寺東部土地区画整理事業に伴い交通渋滞が増大すると推察されるがその対応。  
・景観まちづくり事業での土地購入の目的。

・道路美装化工事による石垣出土との関係で、文化課との連携状況。  
・道路橋りょうで今後の調査計画。  
・JR春江駅周辺事業の今後の具体的な推進計画。

・JR春江駅前の廃屋の対応。

## 教育委員会所管

・ハートピア春江小ホールの照明予算。  
・みくに龍翔館の館内監視用カメラの修繕。

・一筆啓上手紙資料館の建設地変更内容。

・電気ヒートポンプとガスヒートポンプのランニングコストの比較。



▲みくに龍翔館

・人権教育研究指定校事業での具体的な研究。  
・三国学校給食センターの改修計画。  
・春江中公民館整備事業。



▲丸岡城の石垣出土

## 志政会

会長 山田 栄



### 庁舎・公民館の整備方針について

**問** 本庁舎機能の最終的あり方と、それに伴う改築の考え方について。

**市長** 住民サービスの円滑化、行政運営の効率化を図るうえで、集約していく必要がある。

財政負担を考慮し、一部建物を建設するのが適当と考える。

**問** 公民館全体の改築・改修の計画策定についてどのように考えているのか。

**市長** 今年度の耐震診断結果を踏まえ、平成27年度に改修基本計画を策定し、平成28年度から計画に基づき合併特例債を利用しながら順次工事を進めていく。

### 旧竹田小中学校の改修について

**問** 旧竹田小中学校の宿泊施設への改修に関して、全国的に同様の施設改修が増えていることから、差別化

を図る必要があるが。

**市長** 県内外に誇れる旧学校再生施設となるよう、全国公募のプロポーザル方式により設計業者の選定を考えている。

### 道路事業について

**問** 身近な生活道路や観光地周辺の道路改修のための予算を増額すべきでないのか。

**市長** 市民の要望にできるだけ応えられるように、緊急性の高い所や通学路の危険箇所を優先的に実施している。

今後、財政状況を考慮しながら、生活道路の充実に取り組んでいきたい。

観光地の周辺については、魅力ある観光地にするため、関係機関と協議を進め、検討していきたい。



▲ 旧竹田小中学校

## 政和会

会長 前田 嘉彦



### 協働の原則について

**問** 協働のまちづくりにおいて、市の役割と行動は。

**市長** 条例の趣旨に基づき、地域の主体性、自主性を尊重しながら、職員も地域の一員として地域活動に参加し、住みよい地域づくりができるよう支援していきたい。

### 効率的な行財政運営について

**問** 事業仕分けは外部評価の導入も検討しては。

**市長** 行政改革大綱の実施計画については、その進捗状況を行政改革推進協議会の中で確認、意見をいただいております。実質的には外部評価に値するものと考えています。

### 自治区制と庁舎について

**問** 自治区の設置期間終了を迎えるが、庁舎などを含めどのように考えているのか。

**市長** 合併による成果をまとめるとともに、主要な行政課題についてのあり方を検討するため、副市長をトツ

プとする地域自治区制度等検討庁内幹事会を設置した。

### 中小企業の振興について

**問** 起業家支援策については。

**市長** 中小企業振興計画を策定する中で、現状把握に努めながら実情に即した施策の実現に向けて検討したい。

### 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

**問** 災害や事故など予期せぬ事案が発生した場合の行動計画は。

**市長** 職員初動マニュアルを作成し、初期段階において職員が遅滞なく行動できるように、職員ポケットマニュアルを配布し、周知徹底をしている。

### 生涯を通じて学び育つまちづくりについて

**問** まちづくり拠点の整備に係る部局間連携と施設機能の充実について。

**副市長** 行政部局内で地域の事業における課題や情報を横断的に共有し、迅速に対応できる体制のもと、協働のまちづくりを全庁ぐるみで支援していきたい。

**教育長** 耐震補強工事にあわせてバリアフリー化や洋式トイレの整備

など、ユニバーサルデザインに配慮した公民館にしていきたい。



▲ 建て替え予定の春江中公民館



# 政友会

会長 辻 人志



## 庁舎のあり方について

**問** 新庁舎の建設も視野に入れた調査研究を行うべき。

**市長** 平成28年3月に地域自治区制が満了となることから、本庁や支所機能の見直しが必要になり、あわせて庁舎のあり方についても検討が必要と考える。

**問** 今年度、庁内に検討委員会を設け、地域自治区制はもとより、組織体制や庁舎整備などについても調査研究をしたい。

## 農業振興について

### 遊休農地の解消策は。

**市長** 坂井北部丘陵地や三里浜砂丘地においては、企業的園芸を目指す農業生産法人や、露地園芸や施設園芸などで農業参入を図る企業を誘致し支援している。

また、耕作放棄地再生利用事業が延長されたので、新規事業者の募集を含め、事業者への支援を継続していく。

**問** 産地としての販売力を強化するために、積極的な販路支援を。

**市長** 県が首都圏などで進めるブランド力や6次産業化の強化、販売チャネルの拡大を目指すプロジェクトと連携していきたい。

また、JAなどとも連携しながら、都市圏への情報発信の場を積極的に活用し、販路拡大を推進したい。

## 公民館のコミュニティセンター移行について

**問** 計画を進めるにあたり、公民館利用者や市民の意見集約をどのように行っていくのか。

**副市長** 利用者や市民からの意見はコミュニティセンター検討委員会で協議し、その内容は各委員が地域にフィードバックしている。

今後、市のホームページや広報紙自治区ごとに開催する予定の説明会などで市民の理解と周知を図ってきたい。

## 教育行政について

**問** 児童・生徒の学力向上策や教職員の多忙化解消のため、学級支援員などの加配を。

**教育長** 今年度において、市費7,300万円を予算化して支援員58名を配置している。

今後も学校現場の実態に合わせ学級支援員を配置していきたい。



▲ 坂井市役所本庁舎

# 日本共産党議員団

団長 松本 朗



## 市長の政治姿勢を問う

**問** 国政問題でも市民目線で答弁を

**市長** 集団的自衛権行使の容認は、坂井市の若者を戦場に送ること。反対を表明すべき。

**問** 大飯原発再稼働差し止め訴訟判決では、原告の訴えを認め、原子炉の運転を禁じた。この判決にもかかわらず、原子力規制委員会の田中委員長は、「われわれの考え方で適合性検査をする」と述べた。判決を無視する態度は許されないのではないか。

**市長** 県や国の動向を注視する。

**問** 法人税率の引き下げ、来年10月に予定されているさらなる消費税引き上げについて、反対表明を。

**市長** 法人税の引き下げの場合、代替財源の確保を要望している。

**問** 医療・介護総合法の制定によって、介護保険の要支援者を自治体に移行されることになるが、市はサービスの引き下げを行わないと明言できるか。

**市長** 真に必要とするニーズを把握して、サービス水準の低下を招かないように努める。

**問** 教育長を市長が直接任命できる、教育委員会法の改定が行われたが、市長は、教育に対して控えめであるべきだ。

**教育長** 教科書採択、人事などはこれまでどおり、教育委員会の専権事項。教育委員会が教育行政を担う。

## 税外債権の徴収・管理について

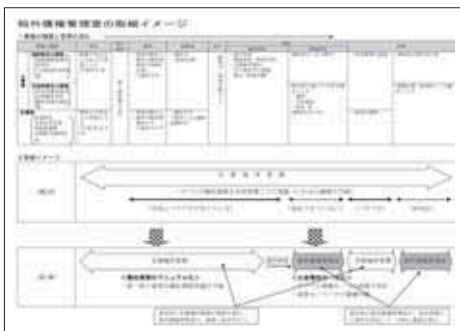
**問** 滞納税・税外債権の一元的徴収は、対応次第で市民を追い込む。滞納処分の執行停止、債権放棄の基準を明記すべき。

**市長** 徴収停止の判断基準については、できるだけ明確化し、税外債権の適正な管理に取り組む。

## 幼保一元化の推進を見直すべき

**問** 公立保育所の民営化は、保育の公的責任の放棄。

**市長** 民営化計画を修正すべき。保育所民営化計画どおり進めたい。



▲ 税外債権室の取組みイメージ

# 一般質問

## 公共施設の耐震診断後の対応について

**問** 公共施設マネジメント白書において市内各公民館は、耐震・改修工事を施工する“と方向性を示しているが、春江中公民館は建て替え工事に変更して準備が進んでいる。

**耐震診断の結果によっては、今後、他の施設との統合改築やあるいは新築など柔軟な対応を行うと受け止めればよいのか。**

**市長** 今年度は13の公民館と三国総合支所について耐震診断を予算化した。

その結果を踏まえ、平成27年度に改修基本計画を策定し、平成28年度から順次、工事を進めたい。

改修計画の策定にあたっては区長会・まちづくり協議会・公民館の利用団体などのご意見を十分にお聞きし反映する。

**問** 三国地区にあつては、三国総合支所の利用機能や三国公民館の駐車場問題、両施設の立地状況、さらには三国社会福祉センターの閉館後の対応など、耐震診断の結果だけでは判断できない多くの課題があるが、どのように取り組むのか。

**市長** 三国地区の公共施設のあり方

は、確かに耐震診断の結果だけでは判断できない多くの課題を抱えている。

白書の方針に示されている施設の総量抑制・多機能化・複合化、そして維持管理費を含めた経費抑制の観点から市内に設けた公有財産利用検討委員会でご意見を重ね、市民のみなさまのご意見も反映して取り組んでいく。

**総務部長** 三国総合支所では、耐震診断以外の検討材料として、この4月から来客数のデータの把握に努めている。



上出 純宏

▶ 三国公民館



▲ 三国総合支所

## 坂井市の教育について

**問** 福井型18年教育と坂井市教育振興基本計画との連携体制は。

**教育長** 県は幼児がスムーズに小学校生活に入れる仕組みを進めていて、この研究の成果を市内に広めていく予定である。

また、小・中・高への円滑な接続を目指し、今後も県との連携を進めていく。

## 中高一貫教育について

**問** 全国的にも増加傾向にあり、文科省も推進する中高一貫教育だが、

わが坂井市内の県立高校などでも、将来的に中高一貫教育校を取り入れて行く予定、方向性のようなものがあるのか。

**教育長** 高志高校に併設される附属中学校の今後の動向と成果に注目していきたい。

市では中高における様々な交流活動を行い、連携を深めていく予定である。

## 坂井市インターネット放送局について

**問** この放送局の開局以来のサイトへのアクセス数および、一日平均の

## サイトへのアクセス数は

**総務部長** 開局から現在までは940件、一日平均約43件である。

**問** 今後この放送局内で、ライブ放送などは取り入れていくのか。

**総務部長** 今後、ライブ発信に見合うイベントなどの内容を検討し、積極的な配信を心掛けていく。

**問** ケーブルテレビとの大きな差別化は。

**総務部長** 双方の特徴を生かしながら、できるだけ多くの情報を市内外に発信していきたい。

**問** 市民からの投稿動画に対応、その動画を掲載するのか。

**総務部長** 現在活用している「わいわいねっとときかい」のサイトを利用、充実していきたい。



渡辺 竜彦



▲ 坂井市教育振興基本計画



坂井市の教育政策について

**問** 近年、青少年に爆発的に普及しているスマホや通信機能付き情報端末を介したトラブルが発生している現状を踏まえ、市としての施策は。

**教育長** 市では、積極的にネット依存防止のセミナーを開催している。セミナーでは、丸岡中学校PTAが取り組んでいる、夜10時以降の通信機器の使用を制限する「to22(トゥー トゥー トゥー)宣言」を紹介し、生活習慣の乱れや体調不良など大きな社会問題の抑制に努めている。

坂井市教育委員会でも、自分自身・家庭・学校が連携してルールを決める「スリールール運動・ルールはあなたを守ります」を提唱しており、今後も家庭・学校とさらなる連携を深め、この運動を広く推進し、ルールの習慣化に努めていく。

また、愛護センターや青少年育成坂井市民会議などの団体にも協力をいただき、市としてのさらなるルール作りを検討していく。

**問** 坂井市のICT教育の現状と今後のタブレット端末の整備計画について。

**教育長** 平成23年度から各学校のパソコン教室の更新に伴い、タブレット端末を、小学校で12校、中学校で

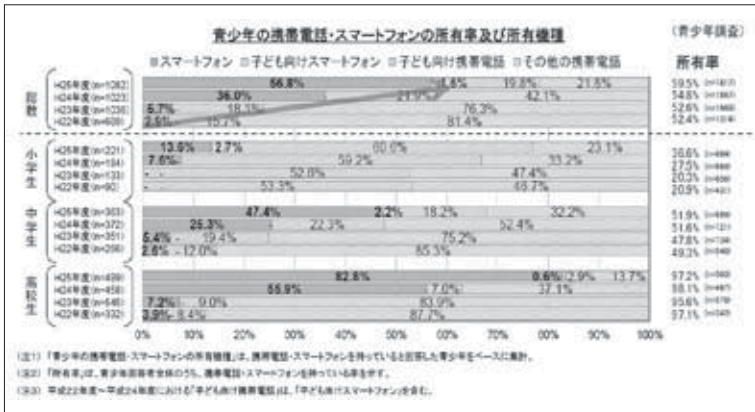
4校に導入している。

今年度

中には全小中学校に導入を予定しているが、このような情報機器は進歩が非常に早いので、タブレット端末を活用した授業の有効性、教職員の研修、支援員の配置など、慎重にかつ十分に検証しながら、効果的な視聴覚学習が図れるように、適切な機器を整備していきたい。



川端 精治



▲ H25年度の青少年の携帯・スマホ所有状況 (内閣府調査)

JR東線春江森田間の工事進捗状況について

**問** JR東線春江森田間の工事において過去の答弁では平成25年度より計画案の検討に入る予定となっていたが、現在の進捗状況はどうか。

**市長** 現在、第二工区の整備は終わっていて、中筋から福井市石盛町の森田地区までの第二工区については、平成25年度にルート選定業務を発注している。

**問** 過去の答弁の中で一部見直しも必要とあったが、現在の都市計画変更による計画決定はどうなっているのか。

**市長** 現在のルート案には県道と市道の交差点などで課題が残っている。今後、議会や関係機関と協議を行いながらルート決定を進めていく。

**問** この工事による春江東公民館の移転はどうなっているのか。

**市長** ルートが決定した段階で検討していきたい。

**問** 若者に興味をもてる活動や坂井市のSNS普及活動について

**問** 今回の選挙の投票率の低さから若者が興味を無くしているのでは無いのかと感じた。

若い人たちに興味を持たれるよう

な活動が必要なのは。

**市長** スマートフォンの普及拡大により、いつでもどこでも瞬時に様々な情報が収集出来る事が可能となっているので、興味の持てる情報発信を効果的に実施していくことで、市政への関心を高めていきたい。

**問** FacebookやLINEなどを永平寺町や鯖江市、あわら市が積極的に活用しているが坂井市でも取り組んでいくかないのか。

**市長** FacebookなどのSNSは双方向性で情報が人から人に伝わっていく、単なる広告やHPよりは信頼感を得られる可能性がある。

シティーセールスの戦略的広報の手段として欠かせないツールの一つだと考えており、効果的に活用していく。今後とも研究していく。



後藤 寿和



▲ 県道板倉高江線、市道沖布目森田線交差点

「坂井市中小企業振興基本条例」  
制定後の市内中小企業の状況に  
ついて

**問** 中小企業とりわけ小規模企業の現状は大変厳しい状況にあるが、市長の所見はどうか。

**市長** 高齢化や後継者不足、空き店舗の増加、集客力の低下など厳しい環境となっているが、地域経済の活性化に向けて小規模事業者の自助努力を踏まえて、国・県・商工会などと連携しながら支援していきたい。

**問** 中小企業振興基本条例の認知度はどの程度か、また具体的な支援実施細目を検討されているか。

**市長** 県内市町では、最初の制定という点で注目はされているが、認知度においてはまた低い状況にあり、より一層の認知度の向上を図って行きたい。

また、今年度に各種支援策を実施していくための中小企業振興計画を策定し、具体的な支援実施内容を検討していく。

**問** 小規模企業者に対する配慮や中小企業に従事する生産者人口の減少について対策はあるか。

**市長** 設備や技術、個人の知識及び技能などの経営資源の確保が困難であることに配慮した施策についても検討したい。

また、労働者確保は今後のより大きな課題になる。

若年者への情報発信が必要であるため、ハローワークの新卒応援就職

支援の周知や、産業フェアでのPRなど実施していきたい。

**問** 福井国体に向けて中小企業が活路を見出せるような施策はないか。

**市長** 市では、サッカー、バレーボールが開催され、できるだけ地元産を利活用できるよう努力していきたい。

**問** 地域の資源あるいは観光資源を活用して中小企業とのコラボという形での支援はできないか。

**産業経済部長** 観光資源を活用し、異業種間のコラボレーションを大切にした相互の底上げを図ってきたい。

**問** 災害時に、市内小規模企業、あるいは団体と事業者の間で、一時的に空き事務所を提供できるような災害協定が結ばれないか。

**産業経済部長** 中小企業においては、組合とか事業団体などで対応しているかなければならないと思っている。

自治体としても、どのような連携ができるか情報を含め、いたがら今後の研究課題としていきたい。



南川 直人

JR春江駅周辺整備について

**問** 今の時点での現状と課題は何か。

**市長** 坂井警察署との協議の結果、駅前のロータリー化の計画案では交差点が大きくなることや交差点からの奥行きが短いことから、通行の安全性に問題があるとの指摘を受けている。

今後は地元や利用者の意見をいただきながら、最良の案を考えていきたい。

また、駅舎の改修については、場合によってはJR所有地を買収する必要がある。

**問** 市民の強い希望があれば計画の変更はできるのか。

**市長** 計画の変更がある場合、県を通じて国土交通省による目的、事業効果、内容などの審査が行われ、承認を得た時には変更可能となる。

**問** 空き家の適正管理に関する条例について

**問** 施行以来の実績はどうなっているのか。

**市長** 案件は28件あり、そのうち4件が解決している。

条例に基づき、指導書を2件、勧告書を1件、条例に基づかない「現

状改善に関する依頼文」を10件送付している。

**問** 老朽化している空き家の現状と課題は何か。

**市長** 管理責任が不明確になった場合や遠方に住んでいて管理意識が低い場合、状況がなかなか改善されないことがある。

周囲に悪影響をもたらす可能性が高い空き家については、最終的には撤去する必要がある。

**問** JR春江駅前の空き家に関する対策と今後の展望について問う。

**市長** 平成14年からの継続案件であり、条例施行後、延べ18回にわたる協議を行っており、指導、勧告を行っている。

今後は命令、公表、戒告、代執行を視野に入れ、当該空き家への立ち入り検査への準備を行っている。



東野 栄治



▲越前織八ガキ



▲JR春江駅



自動体外式除細動器(AED)設置に対する助成制度について

**問** 平成16年7月より一般市民にもAEDの使用が認められたことから、AEDの普及により大切な命が救われた例を聞いている。

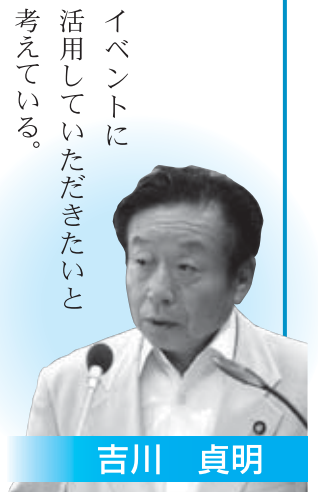
万が一の際にAEDの取り扱いができる者がいれば、また、可能な限り、より多くのAEDを設置することとは、安心して住めるまちづくりにも貢献できると思う。

市の施設などで行われる各種イベントなどでも、緊急の事態が発生した時には、適切な対応が迅速に行われることが可能になった。

しかし、AEDが設置されていない自治会も多数あると聞いている。今後、自治活動などの安心・安全確保のためにAED設置の支援は、

**福祉保健部長** 平成26年4月1日現在のAED設置台数状況は、小中学校で25台、児童施設で26台、公民館26台、運動施設11台、その他公共施設で13台の合計101台となっている。

本年度から市に登録してある自主防災組織が行う防災資機材の整備の補助として、AEDを対象としているので、不測の事態や必要な自治会



吉川 貞明

イベントに活用していただきたいと考えている。

この助成事業は地域の防災活動に直接必要な設備などになっているので、AEDを含む防災資機材として申請していただくことになる。

各自治会でAEDを設置した場合には、緊急時に使用できるよう点検、適正な管理、また、地域のみなさまが使用できるための定期的な講習会も必要になると考えている。



▲坂井体育館設置のAED

平成30年福井国体について

**問** 福井国体では坂井市はサッカー競技と少年少女のバレーボール競技の会場になっているが、準備はどの程度進んでいるのか。

**教育長** サッカー競技会場では、平成25年度に6億2,000万円かけて丸岡スポーツランドの人工芝2面クラブハウスなどの整備をした。

今年度はサッカー場の天然芝の張替え工事を実施し、スタンド改修についても基本設計を実施している。

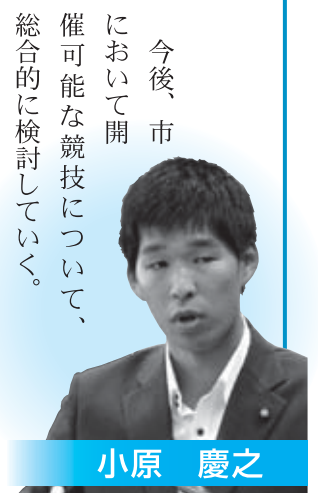
平成27年度には、三国運動公園陸上競技場の芝の拡張と張替えを、日本陸連第2種公認検定の修繕に合わせ実施する。

さらに平成28年度には、三国運動公園横の多目的競技場を人工芝化していきたい。

バレーボール競技会場に関しては、平成27年度に丸岡体育館の床張替え工事、平成28年度には三国体育館の照明の照度アップ、スタンドの補修、トイレ・更衣室のリフレッシュ工事を予定している。

**問** 平成29年度より国体の正式競技となるビーチバレーの誘致については、

**教育長** 競技協会および市町に希望調査を行い、調整を実施する。



小原 慶之

今後、市において開催可能な競技について、総合的に検討していく。

**問** 坂井市スポーツ振興計画にもある地域を生かしたスポーツイベントとして、ビーチスポーツを進めていくことはどうか。

**教育長** 豊かな自然の中でスポーツを楽しむということでビーチを効果的に活用することで、市民に新たなスポーツの場の提供と、美しいビーチの環境保全への意識も高まると考えている。



▲三国体育館と駐車場

「福井しあわせ元気国体」における  
坂井市の集客対応について

**問** 本市での、国体専用のイベント  
や風物詩などの集客する意気込みの  
計画および考え方とボランティア活  
動の促進や宿泊先などの対応は。

**教育長** 国体本来の目的であるスポー  
ツの普及や健康増進・体力向上はも  
とより、市の恵まれた自然や歴史・  
文化資源を全国で紹介する絶好の機  
会であるので、坂井市ならではの魅  
力ある大会を目指したい。

そのために、8月中を目処に、市  
民、事業者、関係機関や団体など、  
約140人の委員による「坂井市準  
備委員会」を設立し、開催準備を円  
滑に進めたい。

また、本市での開催競技はサッカー  
とバレーボールであり、選手・監督  
や役員など合わせて約2,500人と  
なる。

宿泊関係については、両競技の日  
程を調整すれば、ホテルや旅館、民宿  
で対応できると思っている。

**問** 国体推進課の今後の各部署間連  
携は。

**教育長** 国体推進課には職員4名で  
国体に向けての準備を進めているが、  
最終的には約15名の体制で、国体推

進課を総務  
課に移して態勢を強化し  
たいと考えている。



田中 哲治

**問** J R丸岡駅のバリアフリー化の  
早期実現について

**市長** 1日あたりの平均利用者が3,  
000人以上の鉄道駅を対象に、段  
差の解消や視覚障がい者の転落を防  
止するための設備の整備が必要とさ  
れている。

現在の丸岡駅の利用者数は約1,  
800人で、今後、坂井高校生の利用  
者増加を考慮しても現状では難しい  
と考える。

今後の  
利用者数  
の伸びを  
確認しな  
がら、施  
設整備を  
要望して  
いきたい。



▲ 福井国体を周知する横断幕

空き家について

**問** 昨年1月1日より「空き家など  
の適正管理に関する条例」が施行さ  
れたことで、対象となる所有者の反  
応は。

**市長** 28件に関し改善を要請し、市  
の取り組みに理解をしていただいた  
4件が適正な管理を行った。

**問** 空き家バンクをホームページで  
紹介しているが、空き家・空き工場  
の活用につながっているのか。

**市長** 昨年度から、空き家情報バン  
クに登録された物件を購入し、改築  
される方を対象に「定住促進空き家  
リフォーム支援事業」を創設し、こ  
れまで12件の実績がある。

空き工場は、市企業立地奨励金制  
度の中で要件を満たした企業は4件  
である。

**問** J R春江駅前の空き家対策の状  
況は。

**市長** 今日まで18回の協議を行い、  
今後は代執行も視野に入れ、立ち入  
り調査の準備を行い一日も早い解決  
に努める。

民間資金の活用について

**問** 合併により10年間の特例を受け  
て財政運営を行なっているが、今後

は民間資金  
を活用して  
事業を進めるべきでは。

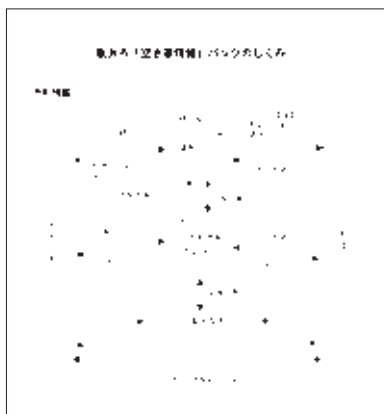


川畑 孝治

エコキャップ回収運動の  
継続について

**問** 平成21年から民間事業者が実施  
主体となり、エコキャップ回収運動  
が進んできたが、6月から休止状態  
であり、市として継続できないか。

**生活環境部長** 6月19日に福井エコ  
キャップ運動委員会から通知があり、  
新たな受け入れ事業所が見つかった  
ので、今後も継続して回収を行う。



▲ 坂井市「空き家情報」バンクのしくみ



糖尿病対策について

**問** 市では平成20年から24年における糖尿病の標準化死亡比は男性134.9、女性124.6と高くなっている。

**市長** 野菜を最初に食べるベジファーストは血糖値が低く抑えられることで血管が守られ、血管の老化による生活習慣病を予防できると言われている。野菜の簡単レシピを募集し、優秀なレシピは健康都市宣言で表彰し、紹介してはどうか。

**市長** 健康都市宣言実行委員会、健康づくり協議会で検討していく。

**問** 住民の健康づくり活動をポイントに換算し、ためると特典を利用することができる健康マイレージの取り組みがある。

**市長** 健康都市宣言を契機に市民の健康に対する意識醸成を高めるため、今後検討していく。

**問** 重症化対策について。

**市長** 経過観察者に健診結果説明会を実施、健康づくり推進委員、保健師、栄養士の訪問による保健指導もを行っている。

医療機関連携の取り組みについて

**市長** (仮称)坂井市健康なまちづくり条例の制定を予定している。

**委員長** 保健医療機関代表を委嘱し、連携体制の充実を図っていく。

**問** 子どもの生活習慣病の増加防止や健康指導のため希望者に血糖値検査へモグロビンA1cを加えた健診はできないか。

**教育長** 生活習慣病の実態を把握しながら、より精度の高い専門的な健診が必要かを検討していく。



▲ 食事はベジファーストから

※標準化死亡比：年齢構成の差異を基準の死亡率(人口10万対の死亡数)で調整した値に対する現実の死亡数の比



田中千賀子

人口減少対策について

**問** 日本創生学会の試算によれば、平成52年には坂井市の人口が76,544人となり、全国で896の自治体で地域崩壊のおそれもあるとしている。

**市長** 市の人口減少対策として、市の特色を生かした対策をどのように考えているのか。

**市長** 坂井市の魅力を全国に発信し、Uターン・Jターン・Iターンなどの定住促進を図るとともに、誰もが安心して子育てできる環境の充実や就労の場の確保など、若年層や子育て世代にとって魅力あるまちづくりを積極的に取り組む。

**問** 定住促進には働く場所の確保が必要で、生産年齢人口や消費人口が減少する中、産業政策ではどのような対策を考えているのか。

**産業経済部長** 地域において強い産業を育てていくことにより就業機会が確保され、定住人口も増えていくと思う。

そのため、産学官連携など試験研究機関と連携、他産業とのコラボレーションや連携協力が必要であり、これらを発展させるための支援策や市内産業が力強く発展していく施策を練っていきたい。

春江工業高校跡地利用について

**問** 平成28年4月に春江工業高校は

廃校となるが、この高校跡地利用について県に対し、市の要望・提言をすべきでは。

**教育長** 現段階においては、平成28年4月以降も坂井高校の教育施設として活用するものと考えている。

今後は県の施設としての役目を終えることが予想される段階で、市全体として施設の位置づけを明確にしたうえで、必要に応じた要望をしたい。

**問** 県教育研究所や春江体育館が老朽化しておりその代替施設として、春江工業高校の跡地利用が考えられないか。

**教育長** 県では、国体に向けて福井県総合運動公園内の陸上競技場を改修するので、駐車場や運動公園内も大きく変わると思われる。

公園内の教育研究所や隣接の青少年センターも非常に古くなっていることから、

今後、移転計画が出た場合、移転先が春江工業高校跡地になれば非常に望ましい。



佐藤 寛治



▲ たなばた縁結び ゆかたで恋活

## 放課後児童クラブについて

**問** 現在の放課後児童クラブの現状と待機児童の状況は。

**市長** 現在のクラブ数は、公立26カ所、民間7カ所で合計33カ所。公立で1,091人、民間で172人、合計1,263人。4年生以上を預かっている児童クラブは、公立3カ所、民間4カ所。待機児童はいない。

**問** 現在の放課後児童クラブの問題点は。

**市長** 施設が狭く、児童の受け入れる面積が確保できないクラブがいくつかある。

**問** 4年生以上の児童を預かった場合の場所の確保は。

**市長** 平成28年度までに幼保園化などにより15クラブの部屋の確保ができる予定。

本年度から28年度へ向けて段階的に場所を確保する。

**問** 学校の空き教室ではなく、放課後の教室を放課後児童クラブとして活用できないか。

**福祉保健部長** 放課後児童クラブのニーズに的確に対応していくためにも、今後とも、教育委員会と協議していく。

## 職員の自主研究について

**問** これまでの研究内容は。

**副市長** 平成20年度に「坂井市職員

自主研修支援要綱」を作成、これまでに11グループ、延べ109人が参加。

新採用職員などの研修内容に意欲を置いたものや、「地域主権と協働」「窓口サービスの研究」など、広範囲の研修内容となっている。

**問** これまでの研究の中で、実際に取り入れた研究成果は。

**副市長** 「行政評価」「シティプロモーション」などを実施。なお、自主研究に限らず、複数の部署合同の先進地視察や研究活動を支援、「上下水道包括民営化」「税外債権管理」「まちづくり関係」などを実施。

**問** 研究テーマに窓口サービスの研究があったが、今すぐに窓口でのフックストップサービスは出来ないか。

**副市長** 現在の課のスペースでは困難と考える。自治区制度の見直しや、総合支所のあり方について、検討委員会を設置し、その中で本庁業務についても検討する。



戸板 進



▲ 放課後児童クラブの様子

## 転入・転出者の動向について

**問** 合併後の転入・転出者の動向はどうなっているのか。

**市長** 平成18年度と平成25年度を比較すると、転出者3%減に対し転入者は13%減であり、現在は転出者が転入者を大きく上回っている。

**問** 転入・転出者の理由については、把握できるのか。

**市長** 異動理由については、プライバシーの観点から聞いていない。

**問** 転入・転出の理由についてのアンケートを実施し、定住促進に向けた施策の参考にできないか。

**市長** 転入・転出される方の生の声は、今後のまちづくりや施策の参考になるものと考えている。他自治体の状況も研究し、実施方法について検討したい。

## 子どもたちの夢を育む教育について

**問** スポーツのトップ選手を目指す子どもたちへの支援をどのように考えているのか。

**教育長** ジュニアアスリート強化選手への練習や合宿への支援と、県の事業であるスーパーアドバイザーとの連携強化を図りたい。

**問** 英語教育のさらなる充実の考えはないのか。

**教育長** 県では、小学校3年生からの英語授業を検討しているようだ。いかにしたら子どもたちが英語を好きになるかを研究していきたい。



伊藤 聖一



▲ 市民生活課窓口



コミュニティバスについて

**問** 今年8月でコミュニティバスの契約の見直しとなる。

通学や高齢者の通院や買い物、観光などに利用できるよう各部署との協議が必要であり、各町小回りのきくルートづくりを。

**市長** 地域のニーズの把握には、教育委員会や庁内関係部局との協議も必要と考える。

情報の共有や意見交換など連携を図りながら、さらに利便性が高く効率的なコミュニティバスにしていきたい。

学童保育(放課後児童クラブ)の充実について

**問** 学童保育の現状は問題や課題が山積している。

子ども・子育て支援事業計画の策定と学童保育の基準を条例で制定を。

**市長** 坂井市子ども・子育て支援事業計画については、平成27年3月の策定に向けて審議している。

放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例を平成26年度中に議会に上程する。

認知症高齢者の徘徊における行方不明対策について

**問** 徘徊対策の遅れと認知症対策が

緊急の課題であり、大きな社会問題となっている。

徘徊SOSネットワークの仕組みづくりを。

**市長** 地域包括ケアシステム構築に向けた地域のネットワークづくりを進め、高齢者が暮らしやすい環境整備を進めていく。

新規就農支援対策について

**問** 新規就農者が独立して農業を続けられ、また認定農業者になって一定の収入が得られるように、新規就農者に対して機械の導入など、市独自の支援策を。

**市長** 県の新規就農者支援事業である小農具等整備奨励金の拡充、および水田農業大規模化事業の対象者に

新規就農者を加えるよう要望している。



畑野麻美子



▲コミュニティバス(丸岡春江ルート)丸岡バスターミナル停留所

防災について

**問** 市の防災訓練について市民の意識向上や具体的行動がとれる訓練が必要と思うが。

**市長** 地震発生直後の身の安全確保、隣近所の安否確認、一時避難所における自治会の安否確認や各種行動、広域避難所における被害状況集計や情報伝達訓練を行っている。

災害発生直後は、行政などによる支援活動は非常に困難なため、自分の体は自分で守る自助、また一人ではないことは地域で助け合う共助が重要であることを理解してもらうために避難訓練を実施している。

**問** 防災行政無線の音量を最大にして訓練を実施すべきでは。

**市長** 訓練における音量は、地域と協議の上でなるべく大きくしたいと考えている。

自主防災組織の取り組みは。

**市長** 地域の防災力向上には欠かせない組織であり、集落における避難行動の主動的役割を担うことが期待される。

毎年10団体ずつ増加しており、今後も自主防災組織の趣旨や補助制度を説明し、結成率向上に努める。

地域包括ケアシステム構築について

**問** 地域包括ケアシステムの認識と考え方を問う。

**市長** 高齢者が重度の介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生最後まで全うできるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援などが一体的に提供される仕組みである。

市が地域の自主性・主体性に基づき、地域の特性に応じてつくり上げていくものである。

在宅の生活支援では、地域住民・ボランティア・NPOなどが必要な時に真に必要なサービスを提供できる体制が不可欠である。



永井 純一



▲地域マネジメントに基づく(ケア付きコミュニティ)の構築

# 総務教育常任委員会報告

## 付託された議案及び調査依頼、請願審査

財務部所管

- ・坂井市税条例の一部を改正する条例について

総務部所管

- ・坂井市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について

予算特別委員会からの調査依頼

- ・平成26年度坂井市一般会計補正予算（第1号）

請願

- ・「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願

付託された条例に関する議案2件は原案のとおり可とすることに決し、予算全般についての調査事項は原案が適当であると報告することを確認、請願は採択と決し議長名で意見書を提出することとした。

## 質疑意見

### 財務部

**問** 法人税を下げたことにより税収が減となるが、その補てんの財源確保はできるのか。

**答** 税収が減となるがそれ以上に交付金の措置が見込めるのではと考える。

### 総務部

**問** 業績手当の基準はどのようになるのか。

**答** 一般職は今年度から人事評価を実施するので、特定任期付採用職員にも同様に評価を行う。

**問** 丸岡地区の防災無線の整備について、三国地区で聞き取りにくいという意見をどう生かすのか。

**答** 支所の地域振興課を中心に、聞こえない地域の把握と苦情などを調査して再度設計したい。

**問** 安心安全メールの広報について、登録の仕方が難しいとの意見があるが、登録者数を増やす新たな方法を検討してるのか。

**答** 地域の防災を担う自主防災組織の役員や区長などへ積極的に働きかけて、各種会議の場で登録を勧めたい。

### 教育委員会

**問** 坂井グラウンドのネット設置工事内容は。

**答** 球が外に出ないように、グラウンドの西側と北側に防球ネットを高さ10メートルに嵩上げる工事である。

### その他の協議

- ・強制徴収公債権の準備スケジュールについて
- ・税とその他の税外債権の滞納の順位について
- ・防災計画について
- ・男性職員の育児休暇の取得状況について
- ・国民体育大会の概要について
- ・春江中公民館の建て替え事業について
- ・三国運動公園陸上競技場の改修計画について
- ・学校給食における食物アレルギーの対応状況について
- ・春江東公民館の移転工事について



▲丸岡城石垣の発掘調査現場



# 生活福祉常任委員会報告

予算特別委員会からの調査依頼

- ・平成26年度坂井市一般会計補正予算（第1号）

予算全般についての調査事項は原案が適切であると報告することを確認した。

## 質疑意見

### 生活環境部

- 問** コミュニティバスのフリー乗降者について。
- 答** 安全運行、安定運行に努める目標から運行上危険が伴うのでフリー降車にとどめた。
- 問** デマンドバスや他の方法を含めて地区を決め、1年間実証実験する考えは。
- 答** デマンドバスのメリット、デメリットを含め、今後も調査・研究していく。
- 問** EV車用の急速充電器設置について事業者などへのPRは。
- 答** EV車用急速充電器設置に国の補助制度があるが、EV車の登録台数が少ないこともあり慎重に対応したい。

### 三国病院

- 問** 患者獲得に向けて、公立病院として外部に向けて情報を発信すべきでは。
- 答** 接遇の研修などにより、行ってみたくなる病院、来たくなる病院にしたい。
- 問** 地域連携室の現状はどうか。
- 答** 平成25年度では、坂井市内外の病院から736件の紹介を受け、三国病院からは897件紹介した。  
今後は、病院間の連携を図り入院者数の増に結びつけたい。

### 福祉保健部

- 問** こども園、幼保園の幼稚園型、保育所型のそれぞれを住民に説明すべきでは。
- 答** 保護者説明会などを通じて細かく説明していきたい。
- 問** (仮称)私立はるえ保育園の場所は交通量も多く、安全性確保を十分にすべきでは。
- 答** 道路の出入りについては、一方通行にするなど地元とも協議したい。
- 問** 災害時に要援護者の状況把握のため名簿が必要であるが、その対応は。
- 答** 災害対策基本法の改正により非常時には要援護者全員の登録者名簿を整えていく。
- 問** 地元の食材を使い食育を反映した献立作りをしているか。
- 答** 献立については調整しているが、地産地消の比率については調査する。
- 問** 保育所において、地産地消の食育の取り組みはどうか。
- 答** 食育ネットワークなどと連携しながら保育園、幼児の食育を実践している。



▲ 特別養護老人ホーム 生喜庵の視察



▲ 私立坂井松涛保育園の視察

# 産業建設常任委員会報告

## 付託された議案及び調査依頼、陳情審査 建設部所管

- ・坂井市特定用途制限地域の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について

## 予算特別委員会からの調査依頼

- ・平成26年度坂井市一般会計補正予算(第1号)

付託された議案1件は原案のとおり可とすることに決し、予算全般についての調査事項は原案が適当であると報告することを確認した。

## 陳情

- ・「TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する要請」について

※参考人を招致し説明を受け審査

### 主な意見

TPP交渉に関する国民への情報開示について、日本は19回目の交渉会議から初めて参加することになるため、情報が入るのはこれからだと思うので、情報開示をどのようにするのか。

また、経済産業省や厚生労働省の医療など多くの分野がある中で、農林分野だけを求めるのはどういう部分なのか。

以上を受け、本委員会では採決の結果、採択することに決しました。

- ・「新たな米政策に関する要請」について
- ・「農業改革に関する要請」について

※参考人を招致し説明を受け審査。

意見書の内容から本委員会では採決の結果、採択することに決しました。

## 質疑意見

### 産業経済部

**問** 福井の伝統野菜である「越前白茎ごぼう」の作付けをする生産農家がいないと聞いているが。

**答** 現在1名の方が作付けしている。

昨年越前白茎ごぼう保存推進協議会を設立し、今年から協議会のメンバーが作付けをする。

**問** 田島川周辺の圃場が毎年冠水状態になり「そば」などの転作作物に被害が出ているが、地域に合わせた農業政策の方向付けは。

**答** 転作対応の中で、地域にあった営農指導を考えていく必要があるので、市としても県およびJAと連携を密にし、地元の方と営農指導ができるようにしていく。

### 建設部

**問** JR春江駅周辺について、ロータリーをやめて一方通行にすると聞いているが、問題はないのか。

**答** あくまでも案であり、一方通行については、これから地元や駅を利用する方などの意見を聞きながら、期待に応えられるよう進める。

**問** 「まちづくり交付金事業」の丸岡城西側広場の都市計画は。

**答** 以前から地域の方やまちづくり協議会との話の中で、公園の整備を考えている。

また、イベントなどが出来るような整地をして地域の活性化に努めていく。

### 上下水道部

**問** 公共下水道の整備率および水洗化率の説明を。

**答** 整備率は、公共下水道の全体計画面積(3,257ha)に対して、実際に下水道が整備された面積(2,672.9ha)の割合。

また水洗化率は、下水道が整備された区域内の人口に対して、実際にトイレを水洗化し、台所などの雑排水を下水道に接続した人口の割合。



▲ 建設中の東二ツ屋貯水地



平成26年度 一般会計6月補正予算概要

補正額 **20億5,600万円** (補正後の額 337億1,300万円)

主な事業

◆**防災行政無線事業** 1億5,014万円  
老朽化した丸岡地区防災行政無線設備について、平成26～27年度でJ-ALERT(全国瞬時警報システム)と連動させたデジタル化整備などを行う。

◆**保育所施設整備事業** 3億1,246万円  
(仮称)坂井こども園新築工事費など。

◆**商業振興対策事業** 3,600万円  
坂井市内消費者への消費喚起や事業所の売り上げ拡大に伴う坂井市商工業の活性化などを図るため、坂井市商工会が行うプレミアム商品券発行事業への助成。

◆**まちづくり交付金事業** 1億2,032万円  
国の交付金を活用して、観光と産業の振興、街なかのにぎわいを取り戻すため丸岡城西側広場の整備や道路美装化工事などを行う。

◆**幼稚園・小学校施設整備事業** 6億2,850万円  
幼稚園保育室や小学校普通教室に空調設備を設置し、環境整備を図る。

◆**公民館施設整備事業** 2,820万円  
春江中公民館建て替えに伴う設計委託料および大関公民館エレベーター設置工事費。

◆**文化の森・文化未来館管理運営事業** 5,500万円  
経年劣化が著しいハートピア春江の小ホール舞台照明設備の改修。



広域連合・一部事務組合報告

福井県後期高齢者医療広域連合

- 平成26年2月：第1回臨時会
  - 監査委員選任の同意
  - 福井県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 平成26年3月：第1回定例会
  - 平成26年度一般会計予算 他4件が可決**主な議案**  
平成26年度特別会計予算

嶺北消防組合

- 平成26年3月：第1回定例会
  - 平成25年度一般会計補正予算 他4件が可決**主な議案**  
平成26年度一般会計予算  
消防・救急デジタル無線整備工事請負契約の締結について
- 平成26年5月：第2回臨時会
  - 平成26年度一般会計補正予算 他4件が可決**主な議案**  
消防救急車の取得について  
嶺北消防組合火災予防条例の一部を改正する条例について

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

- 平成26年3月：第159回定例会
 **主な議案**  
平成26年度一般会計予算  
平成25年度一般会計補正予算

武生三国モーターボート競走施行組合

- 平成26年3月：第1回定例会
  - 平成26年度一般会計予算
- 平成26年5月：第2回定例会
  - 専決処分の承認(平成25年度一般会計補正予算)
  - 監査委員選任の同意

五領川公共下水道事務組合

- 平成26年3月：第90回定例会
  - 平成25年度五領川下水道事業会計補正予算 他2件が可決**主な議案**  
平成26年度五領川下水道事業会計予算

# 定例会審議結果

## ★6月定例会に提出された議案と議決結果

○…賛成 ×…反対 ▲…欠席 ー…議長のため原則採決に参加できない

議案番号	件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
			小原慶之	後藤寿和	川端精治	渡辺竜彦	前川直人	南川健司	上坂進	戸板貞明	吉川信二	古屋純宏	田中哲治	佐藤寛治	松本栄治	東野聖一	伊藤人志	辻川孝治	前田嘉彦	橋本充雄	永井純一	畑野麻美子	山田栄	広瀬潤一	田中千賀子	木村強			
同意第4号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第5号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第6号	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成26年度坂井市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	坂井市一般職の任期付職員を採用等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	坂井市特定用途制限地域の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	坂井市税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
請願第2号	「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号	TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	新たな米政策に関する要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	農業改革に関する要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	新たな米政策に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	農業改革に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	



# 第9回 議会報告会

第9回議会報告会を5月22日に浜四郷公民館、東十郷公民館、5月23日に鳴鹿公民館、大石公民館にて開催しました。

3月定例会についての報告と質疑のあと、小グループに分かれて参加者との意見交換を行い、たくさんのご意見ご質問がありましたので、みなさんの声を抜粋して紹介します。

## 参加者の声

- 臨時職員であつてもトラブルがないように職員研修を行ってほしい。
- 坂井高校ができたが、交通の便が悪い。高校への通学アクセスをよくできないか。
- 防災対策の補助制度に水や食料品の備蓄に対する補助がないので、補助の拡大をお願いしたい。
- 竹田メロディーパークの水車を利用した水力発電はできないか。

- 市役所の部署がまとまっていない。1カ所ですべての用事が終えられるような整備計画はあるのか。
- 防災無線が風向きによって聞こえにくい。個別受信機設置の計画はあるのか。
- 用水路がパイプライン化で埋められたが、表面がコンクリート舗装されている。このままの状態か。
- 坂井市の花である「ゆり」を学校などに配布してはどうか。
- 市議会議員選挙の投票率が低い。原因は市民との対話力。市民の声をよく聞いて、議案



▼ 丸岡地区



▲ 坂井地区

## アンケートから見る議会報告会への意見

- ・ 議会報告会でお気づきになった点、発言できなかった点、また坂井市議会全般について
- ・ 分科会方式は意見が出しやすく大変よかった。
- ・ 説明する時、早くて分かりにくい。ゆっくり説明するようにしてほしい。
- ・ 時間がもう少しあるといい。意見がたくさん出るので検討してほしい。
- ・ 市議会だよりを読みあげているだけ。もう少し肉付けされた説明を求めたい。

- 議員の定数削減について、議員はどう考えているのか。
- を出してほしい。また、住民と議会の壁を低くして、身近な議員として活動をお願いしたい。
- 以上、参加者の声として一部掲載させていただきました。これ以外にもたくさんのお声をいただいたことについては、その場でお答えをしたり、国や県のことについての要望などは、県などに担当所管より伝える旨のお返事をさせていただきました。

## ● 議会を傍聴してみませんか ●

### ★9月定例会会期日程(予定)

9月5日(金) 本会議(行政報告・議案説明など)

9月16日(火) 本会議(一般質問)

9月17日(水) 本会議(一般質問)

9月19日(金)・22日(月)・24日(水)

各常任委員会

9月29日(月) 本会議(委員長報告・採決など)

※ 予定ですので、今後変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先  
TEL 50-3001 議会事務局

## ● 議会報告会を開催します ●

今回は、6月議会の内容についての報告およびコミュニティバスについて意見交換を行いたいと思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

開催日時	会場	
8月20日(水) 午後7時30分～	長畝公民館	丸岡町八ヶ郷24-9 TEL 66-7446
	兵庫公民館	坂井町上兵庫65-15-1 TEL 72-1898
8月21日(木) 午後7時30分～	三国公民館	三国町北本町二丁目1-33 TEL 82-6400
	春江南公民館	春江町江留上大和4-8 TEL 51-0829

(市民の方は、どの会場でも参加自由です)

# 坂井市議会の構成

常任委員会 ◎委員長 ○副委員長

## 総務教育常任委員会(9名)



## 生活福祉常任委員会(8名)



## 産業建設常任委員会(9名)



## 議会運営委員会

### 議会運営委員会(10名)

◎広瀬 潤一 ○東野 栄治 前川 徹  
古屋 信二 上出 純宏 田中 哲治  
佐藤 寛治 松本 朗 伊藤 聖一  
川畑 孝治

## 特別委員会

### 予算(議長を除く全議員)

### 総合交通対策(12名)

◎辻 人志 ○渡辺 竜彦 後藤 寿和  
上坂 健司 戸板 進 吉川 貞明  
田中 哲治 佐藤 寛治 東野 栄治  
畑野麻美子 山田 栄 広瀬 潤一

### 地域まちづくり(12名)

◎伊藤 聖一 ○前川 徹 小原 慶之  
川端 精治 南川 直人 古屋 信二  
上出 純宏 松本 朗 川畑 孝治  
永井 純一 田中千賀子 木村 強

## 議会報告委員会

### 議会報告委員会(4名)

◎東野 栄治 ○松本 朗 吉川 貞明  
古屋 信二

## 広報編集委員会

### 広報編集委員会(7名)

◎前田 嘉彦 ○田中 哲治 小原 慶之  
前川 徹 南川 直人 上坂 健司  
戸板 進

## 編集後記

本年も全国各地で猛暑が続いていますが、反面、ゲリラ豪雨も発生し、今後の各種イベントや出来秋を迎える収穫作業などに影響するのではないかと心配されます。

東洋経済新報社調査による「住みよさランキング」で、安心度や快適度、居住水準充実度などの評価で、昨年の4位から2位に上昇し、議会としてもランキングにふさわしいまちづくりを進めていきたいと思っております。

さて、本年は改選もあり、広報編集委員会のメンバーも大幅に変わりましたが、みなさまに親しまれる議会広報、関心の持っていただけ読みやすい紙面を念頭に力を合わせて頑張っております。(T・T)

